

勝田高校図書館だより

平成 30 年度 第 9 号

平成30年12月21日発行



今年も終わろうとしています。今年は、年の瀬の様々な催しや季節の物事を語るときに「平成最後の」という枕を冠して語られることが多いですね。皆さんが生まれたのは「平成」ですから、元号が変わることや、その元号に表される時代性を語ることは新鮮さや戸惑いを感じているかも知れません。3年生の中には、元号が変わろうが変わるまいが、大学入試の方が気掛かりだという人もいるかも知れません。

年が「改まる」という言い方があります。新年を前に気持ちを「改め」、それぞれの環境や状況の中で、新しい気持ちで物事に向かう準備が出来る平成30年の残り10日間でありたいと思います。

昼休みや放課後に来館し、学習する3年生が増えています。入り口付近の色とりどりのクリスマスの飾り付けが少し申し訳ないくらい、図書館の空気も緊張感に共鳴する季節です。一方で、新着図書を借りていく進路決定者や、図書委員の活動でテーブルに紙面を広げて今年の事件や話題を振り返る2年生の姿も見られます。図書館には、様々な機能と顔があります。集中したいときも、一人で考え事をしたいときも、情報を手に入れたいときも、日当たりのよい図書館は皆さんをお待ちしています。今年は、館内の模様替えをしました。「改める」ことも忘れずにいたいと思っていますが、変わらず皆さんの「居場所」であり続けたいと思っています。よい年をお迎えください。

＊図書館からのお知らせです。＊

◎冬休みの開館日 12月25日(火)～12月27日(木) 9:00～16:00

◎長期貸し出し 12月17日(月)～ 1月11日(金)

是非ご利用ください。

○12月のカウンター当番は2年生の図書委員が担当していました。それと併せて、新聞記事の中から「気になるニュース2018」を各自選んでいます。まもなくご紹介できます。お楽しみに。

○1月のカウンター当番は1年生が担当します。

○新着本が入荷しています。是非手にとってくださいね。

＊「学級文庫コーナー」を作りました。＊(右上の写真をご覧ください。)

先月ご紹介しましたが、1年生の図書委員が、自分たちのクラスに届けたい「学級文庫」を選定しました。各クラスで思い思いの場所にコーナーが設けられました。小さな出先の図書館であり、委員がクラスの人たちの顔を思い浮かべながら選んだ暖かな空間です。なかなか本を手に入れたら嬉しい1年生は増えませんが、少しでも「こんな本が図書館にあるのか」と手にとってもらえれば幸いです。

これから益々寒さがつづきます。一冊の本が、心に栄養や元気を与えてくれることもあるように思います。



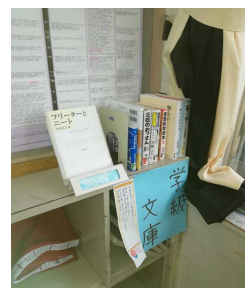
〈1年1組〉



〈1年2組〉



〈1年3組〉



〈1年4組〉



〈1年5組〉

十二月のうた (古文(随筆))



正月一日は、まいて空のけしきもうらうらとめづらしう、霞みこめたるに、世の中にありとある人は、みな姿、かたち心ごとにつくろひ、君をもわれをもいはひなどしたる、さまことにをかし。
(清少納言『枕草子』第三段)

正月一日は、まして空の様子もうららかに清新な感じで、あたりは一面霞わたっている折から、世の中にいるありとあらゆる人たちは、皆服装や容貌を格別に念を入れて整え、主君をも自分をも祝いなどしているが、その様子は(いつもと違って)一段と趣深い。

これは、皆さんご存知の『枕草子』の冒頭「春はあけぼの」の少し後に書かれた文章です。元日の朝の、全てのものが改まった光景や空気を、余計な感想や説明をいっさい廃して記しているところに、清少納言の、ものを見る目と言葉の感覚の鋭さが表れているように感じます。本文は、この後、一月七日の「若菜摘み」・「白馬の節会」、八日の参内して車を走らせる車の音…というように、四月の「賀茂祭」まで、暮らしの表情を簡潔に、そして様子が目に浮かぶように書き連ねていきます。冒頭でも述べましたが、年が改まり、何とはなしに気持ちも改まる様子や、空や空気さえも新鮮に感じ、晴れがましい気分になっている人々の心が見事に描かれていると思います。

最近では元日から営業する店舗も増え、新年の晴れがましさを改まった空気、そして静けさを実感する機会は減っているかも知れません。けれども年の初めには、このように千年前から変わることなく改まった気持ちで一年の始まりを寿ぎ、幸いを祈る自然な気持ちを大事にしたいと思います。「全ての人々に幸多い年が訪れますように。」きれいごとではなく、自然に素直な思いが湧き起こったら、やはり素直にその気持ちを大切に抱えてみたい気がします。